

令和元年（2019年）5月29日

札幌啓成高校の主権者教育について

札幌啓成高校では、3年生の「政治・経済」の授業や各クラスのホームルームで主権者教育を行っています。

「政治・経済」の授業で

この授業では、主に「現代の政治」の「民主政治の基本原則と日本国憲法」の単元において、約20時間の配当時数をかけて、次のような学習をします。

- ・現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高める。
- ・基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解する。
- ・民主政治の本質について把握する。
- ・政治についての基本的な見方や考え方を身に付ける。

各クラスのホームルームで

総務省・文部科学省から配付されている『私たちが拓く日本の未来 ～有権者として求められる力を身に付けるために～』を用い、「有権者になるということ」「選挙の実際」「政治の仕組み」「年代別投票率と政策」「憲法改正国民投票」などについて主体的に学びます。特に、選挙については選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことから、より理解が深まるようにしています。

選挙前指導

2017年10月22日には、第48回衆議院議員総選挙が行われました。

本校では第3学年の約半数の生徒が選挙権を有していたことから、各ホームルームにおいて、選挙の前に選挙に対する心構えや、投票の仕方、選挙違反（やってはいけないこと）などについて、選挙前指導を行いました。

これらの指導を通じて、生徒は主権者意識を高めていったようです。